

給食だより 10月号

(毎月19日は食育の日)

平成25年 10月4日
さいたま市立尾間木小学校
校長 久田 富士子

日増しに秋も深まってきました。子どもたちにとっては勉強やスポーツなどに忙しい季節です。しっかりと食事を取り、丈夫な体を作りましょう。

また、「実りの秋」を迎えました。新米の炊きたてのご飯、脂ののったさんま、かきやくり、サツマイモ、そしてきのこなど、秋はおいしい食べ物がたくさん出まわります。「秋の味覚」をたくさん味わってください。

さいたま市の非常用食糧のアルファ化米をいただき、9月11日に給食に出しました。子どもたちには、災害時の食事を意識する機会とするために、給食の食器の代わりにプラスチックの弁当容器によそったり、炊き出しセットを展示しました。また、担任の先生たちからも毎日の手紙「オマギランチタイムズ」を読みながら、この日の給食や竜巻がおきたときの対処法などを話していただきました。



東日本大震災の時に、寒天を炊き出し用救援物資として寄付された企業がありました。寒天が常温で固まるため、子どもたちにゼリーを作って出したという記事から、手作りゼリーも出しました。





ふれあい給食に、たくさんのおじいちゃん、 おばあちゃんがいらっしゃいました。

9月27日に1年生のおじいちゃん・おばあちゃんをお招きして「ふれあい給食」がありました。
自己紹介から始まり、歌のプレゼントをしてから、和やかな会食が始まりました。



【この日の献立】

ツナじゃこごはん
牛乳
じゃがいものそぼろ煮
ゆかりあえ
わらびもち



【感想】

- ・会話の多い食事会で、とても楽しく過ごさせていただきました。食事は、栄養をとるだけではなく、楽しく食べるということが大切ということをつくづく知りました。
- ・今日は、こういう場に参加でき、本当に感激いたしました。教室での孫の姿はいつもと違って、楽しそうで、なんとも言えない表情をしています。お友達といただく給食は格別なのでしょう。
- ・家では、好きなものが多く出てしまうので、かたよりがちな食事になってしまうのですが、学校で好き嫌いなく食べているのを見て、嬉しく思いました。
- ・初めて食べさせていただきました。栄養や味にこだわっているように見えました。こんな給食をかわいい孫が食べていることに、本当に感謝いたします。
- ・食育は、本当に大事です。昔の野菜はそのものに甘みや苦味などを感じさせてくれます。少ない予算ですが、おいしい給食をお願いします。

